



## 【m-HANDS 2020 第8回の報告】

中国ブロックでの指導医養成の報告

出雲家庭医療学センター大曲診療所 藤原和成

広島大学病院 総合内科・総合診療科 小林知貴

岡山家庭医療センター奈義ファミリークリニック 松下明

## 【m-HANDS-FDF】

(modified - Home and Away Nine DayS – Faculty Development Fellowship)

6年間にわたって継続してきた中国ブロックの指導医養成コースです。今年度もオンライン開催となりました。

8月から3月まで、月に1回全8回のコースとして実施しています。

今年度も、JPCA-MLなどで募集して中国地方の指導医3名が参加中です。3名にはチームとして様々な課題に取り組んでもらっています。

以下に第1回に参加してくれた指導医からの報告の一部を掲載します。

2022年度も引き続き開催を予定しています、ご興味のある方はぜひご連絡下さい。

〈目的〉

中国ブロックの指導医の養成とプログラム運営の質向上を通して、プライマリ・ケアの普及と発展をめざす

〈対象〉

- ・中国ブロックに所属しており、家庭医療後期研修を修了した医師
- ・中国ブロックの家庭医療後期研修に関わる指導医

〈アウトカム〉

**Core Competence : Adult Educator(成人学習支援者)**

学習者と向き合い、その学びに気を配り、学びの場をサポートできる

教育者の役割と限界を知り、学習者と協同的に学び、生涯学習者を育てる姿勢で関わる

学習者の学びを促進するための理論と技術を適切に用いることができる 参加者と講師による学習共同体の形成を勧め、ブロック内の指導医ネットワークを作る

机上のプログラム作成だけでなく、各現場での仕組みづくりや教育チーム形成ができる

総合診療の魅力やプログラムの魅力を効果的に伝えられる発信力や求心力を発揮できる

ツールの活用や工夫などで独創的で質の高い遠隔教育ができる

第8回 オンライン開催 2022年3月26日(土)

## 【卒業制作その後の発表】

以前、前年度 m-HANDS フェローの先生方に卒業制作の概要を聞きましたが、最終回の m-HANDS では卒業制作事例のその後の経過を発表していただきました。大学病院総合診療科における初期研修医の8週間の卒後

臨床研修カリキュラムの作成事例や、医学生の臨床実習のオンライン/ハイブリッド化事例において、いずれもアウトカムや目標・方略を明確に設定しどのような結果になったか、よかった点や改善点を中心に振り返っていただきました。自分自身の卒業制作が1年後どのように発展するか、今から楽しみにになりました。(吉田晶代)

### 【PF 発表会】

m-HANDSでの学びを活かして、ここで振り返ったことを更に専攻医・初期研修医と振り返ったという内容をポートフォリオにするということで、それ自体に学びが多かったです。ここで提示した教育事例が複雑事例であることが多いと思うので、振り返り1回で完結させるのではなく、さらに他のDrを巻き込んで勉強したものを還元する、ということができているのではないかと感じたうえで、専攻医・初期研修医の満足度を高めることが出来ているのではないかと感じました。振り返りやポートフォリオの大切さは、実際に行ったりやり取りをすることで見えてくる要素が大きく、継続して学びの場になることが可能であるということ再認識しました。(大村大輔)

---

第8回をもちまして、2021年度の中国ブロック指導医講習コースm-HANDSは終了いたしました。

2020年度に引き続き完全オンラインでの実施となりましたが、1年前に比べてオンライン教育のノウハウも増え、受講者にもかなり慣れが見られるようになりました。この2年間、オンライン教育の方法という点では、運営・講師メンバーも受講者もほぼ同じスタートラインからの学びであり、互いに刺激を受けながら進めて行った面があります。

2021年度は、以前のカリキュラムよりもさらに全体の流れを意識して、最後に提出してもらう修了課題に焦点を当てた、学習転移を意識した構成にしてみました。教育の便益遅延性といったものを考慮すれば、このコースの効果がでてくるのはもう少し後のことになるかもしれませんが、ブロック内の専攻医教育の質向上に貢献できているのではないかと考えます。

2022年度も引き続き開催を予定しておりますので、専攻医教育に関わる専門職の皆様にはぜひご参加いただけると幸いです。(m-HANDS コースディレクター 藤原和成)

### 【新専攻医対象中国ブロック支部合同オリエンテーションとポートフォリオ発表会】

中国ブロック支部の新専攻医オンラインオリエンテーションとポートフォリオ発表会を、2020年4月23日(土)と24日(日)に、2日間オンラインにて開催しました。

1日目は、最初に中国ブロック支部長の松下明先生(奈義ファミリークリニック)に「家庭医療学の総論」をお話いただきました。その後、昨年度好評でありました、新専攻医の先生18名から自己紹介として、プログラムの選択理由や将来の目標などを話していただきました。次に、昨年度総合診療専門医研修を修了した、先生方3名に実際の研修内容やどのように取り組むべきかなど、専攻医目線で話していただきました。実際に、総合診療専門医プログラムを修了した先生の話だけ合って、非常に参考になったことと思います。最後に、ロールモデルとして、広島県内の都市部と中山間地でそれぞれ家庭医として活躍されている、佐古謙篤先生と横林賢一先生に、これまでのキャリアなどについてお話をいただきました。

2日目は午前中にポートフォリオ発表会を開催しました。80名以上のみなさまに参加をいただき、20名の専攻医の先生がポートフォリオ発表をしてくださいました。2つのルームに分かれて行われたポートフォリオ発表会でしたが、各部屋とも指導から充実したコメントもあり、より深い学びができたことと思います。最優秀演題は、いずれも長州総合診療プログラムの江副一花先生と筒井知里先生が受賞されました。江副先生は2年連続受賞であり、プログラム内での充実した研修や指導が行われていると感じました。また、これからポータル

オリオを作成する新専攻医の先生方には、どのように書いたらいいかよい手本となったことと思います。

(文責：広島大学病院 総合診療科 小林知貴)



### 【第1回 病院船推進会議 (Society5.0) のご案内】

2022年8月6日(土) 午前10時～午後4時

第1回 病院船推進会議 (Society5.0)

場所：広島市中区本川町3丁目1番5号 ポートインク内

病院船推進機構 CEO 中村浩士

電話：090-2239-3878

Mail：nahirosi0514@gmail.com

10:00-10:30	オープニング・本会の趣旨 ○講演／大規模災害と病院船(仮)	呉医療センター・中村浩士
10:30-10:40	休憩／設営	
10:40-12:00	～～～病院船ワークショップ～～～ 《病院船の設計・安全論(仮)》	司会進行：山口太一
12:00-13:00	昼休憩	
13:00-13:30	○講演／災害医療について(仮)	熊本大学・笠岡俊志
13:30-13:50	総合討論／ワークショップ	
14:00-14:30	○講演／災害時でのオンライン診療 (仮)	日本遠隔医療協会・長谷川高志
14:30-15:00	総合討論／ワークショップ形式	
15:00-15:20	○ミニセッション1	橋本研究所・橋本陽祐
15:20-15:40	○ミニセッション2	交渉中
15:40-16:00	○ミニセッション3	交渉中
16:00	終了	